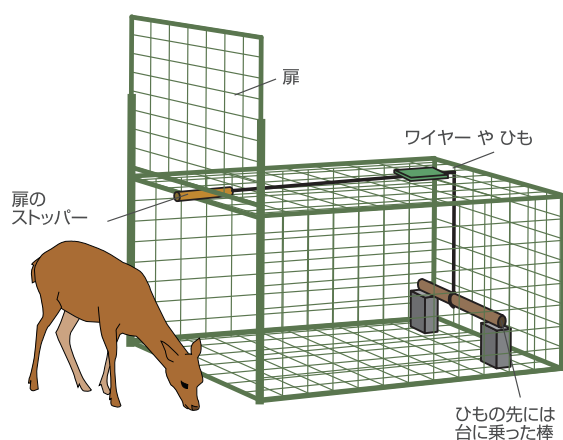


みんなができる 箱わなと囲いわなによるシカの捕獲

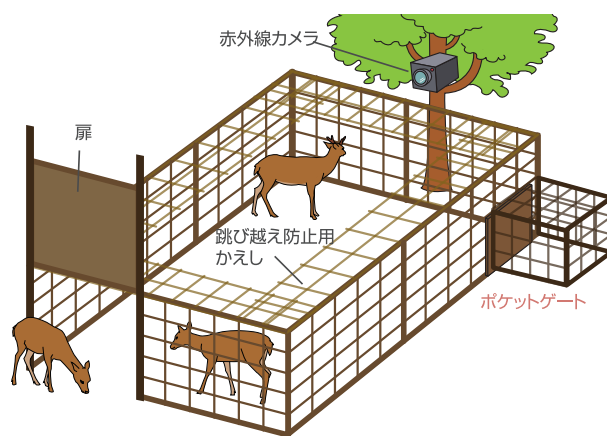
▼ わなの特性を知り、シカの生息状況や予算を考慮して選びましょう。

各 わ な の 比 較		1回の捕獲数	設置の簡単さ	餌づけ	難易度
	箱わな	1～数頭	◎	必要	普通
	囲いわな	1～10数頭	△	必要	普通
	くくりわな	1頭	○	不要	難



箱わな

箱わなは、移動や設置は比較的楽ですが、1回当たりの捕獲数は多くても2、3頭です。



囲いわな

囲いわなは、設置の費用や労力はかかりますが、遠隔操作方式を使うと1回に10数頭捕獲できます。(シカが多いところ、カメラ監視や遠隔操作ができるところでは有効です。)

捕獲の手順

基本的な手順は以下の通りです。

1 場所選び

シカが出没する場所と時期を選んで、わなを仕掛けないと効果的に捕獲できません。

2 餌づけ

シカが多い場所に餌を捲いて、餌の減り具合や足跡などを確認します。餌づけに成功すると、毎晩来るようになります。事前に良く餌づけた獲物ほど警戒心が弱くなり捕獲しやすくなります。餌づけに成功してからわなを設置するのが確実です。

3 わなの 設置・捕獲

わなの外からわなの中へ誘引するように餌を捲きます。
餌の食べ方を確認しながら、一番いいタイミングでトリガーを仕掛けましょう。

4 殺処分

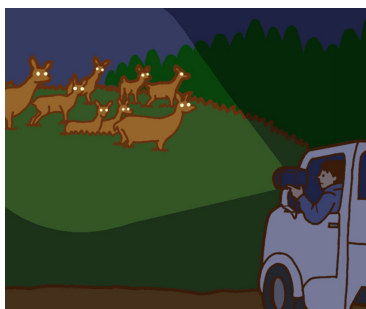
捕獲できたら、殺処分を行います。

※このパンフレットでは、それぞれの手順を解説します。
条件によっては3から始めても捕獲できますが、捕獲できない場合は1から順番に実施しましょう。

1 場所選び

獲物が多い場所よく通る場所を探してわなを仕掛けましょう！

資材の運搬や管理のしやすい場所を選ぶことも必要ですが、人間の都合よりシカの都合に合わせるほうが捕獲しやすくなります。



1 ライトセンサス

① 広い範囲から候補地を選ぶには、夜間にサーチライトを使って、出没状況を確認するのが効率的です。

② 地域の出没状況を知るには、何度かパトロールしてみることをお勧めします。



2 痕跡の確認

範囲が絞られたら、足跡や糞、獣道などから、わなを置く位置や方向を決めます。

2 餌づけ

箱わな・囲いわなの捕獲で一番重要な作業です。

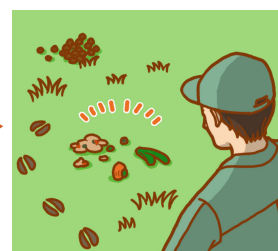
1 餌付けで獲物の様子を確認 わなを仕掛ける前に、まず餌を撒いて食べるかどうかを確認します。

餌の比較 — 餌はできるだけ新鮮なものを、惜しみなく！

米ぬか	野菜	粗飼料	濃厚飼料
誘引力(強) 費用(安) 扱いやすさ(楽) 誤捕獲の危険(少) 費用がかからず扱いやすいです。誘引効果も強いですが、イノシシやクマなどの誤捕獲に注意が必要です。	誘引力(強) 費用 扱いやすさ(楽) 誤捕獲の危険(少) 新鮮であれば野菜くずで十分です。費用はかかりませんが、入手しにくい時期もあり、保存もぎかないので扱いやすさに難があります。	誘引力(強) 費用 扱いやすさ(楽) 誤捕獲の危険(少) 費用がかかりますが、入手や扱いは楽です。誘引効果に差がありますが、時期によっては粗飼料でも有効です。濃厚飼料はイノシシやクマなどの誤捕獲に注意が必要です。	誘引力(強) 費用 扱いやすさ(楽) 誤捕獲の危険(少) 費用がかかりますが、入手や扱いは楽です。誘引効果に差がありますが、時期によっては粗飼料でも有効です。濃厚飼料はイノシシやクマなどの誤捕獲に注意が必要です。

2 誘引状況の確認

- ① 周辺の草刈り等をして、わなを設置しやすく、餌も食べやすいようにしておきます。
- ② 餌の減り具合や足跡・糞などの痕跡を確認して、獲物の誘因状況を確認します。



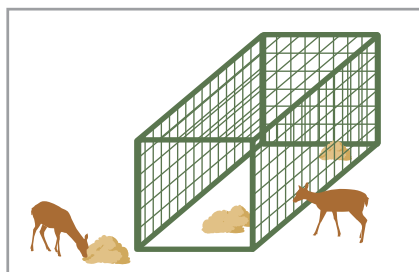
3 シカの習慣性

餌づけしたシカは、繰り返し出てきます。餌づけをしばらく続けると、警戒心もだんだん弱くなり、わなの中に入りやすくなりますが、待ち過ぎると行動が変わることもあるので決断が必要です。餌付けの目安は最初の完食から3日程度です。

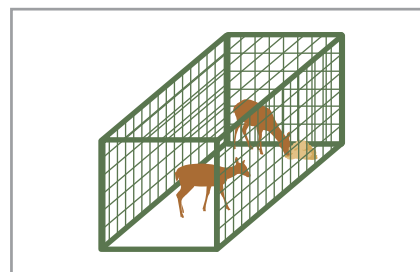
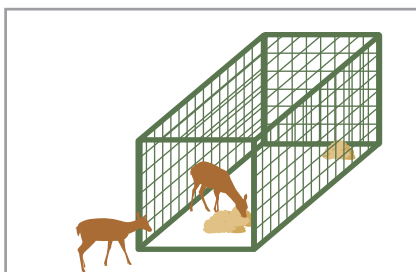
3 わなの設置と捕獲

1 わな設置 獲物が餌を食べることがわかったら、わなを仕掛けましょう。

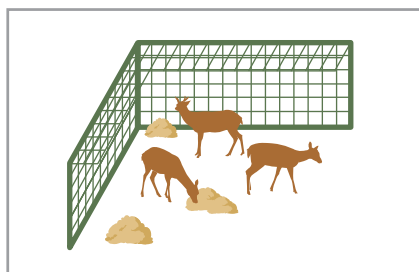
2 わな設置後の餌の捲き方 毎日(もしくは2日に一回)、状況確認と餌の追加をしましょう。



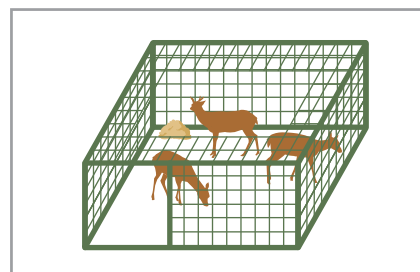
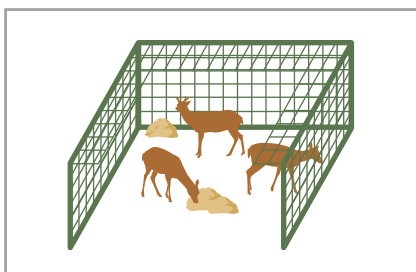
①まずは、わなの外にも餌を撒いて、徐々にわなの中に誘導しましょう。



②わなの中の餌を食べるようになったら、わなの中だけに餌を置くようにします。



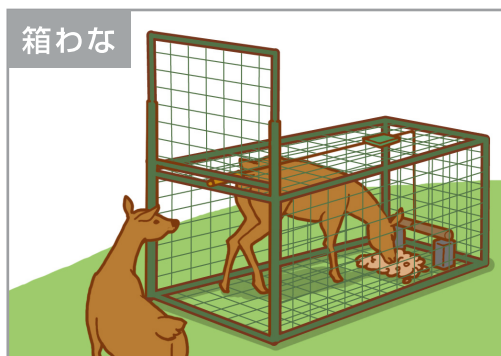
③囲いわなの場合は、餌づけながら徐々に囲う方法も効果的です。



3 捕獲のタイミング

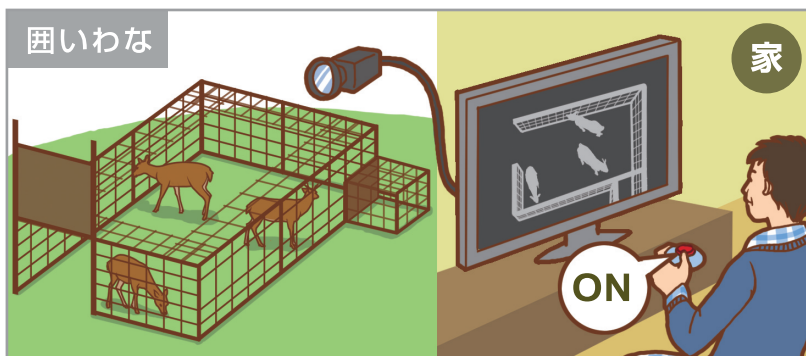
十分に餌づいたシカは何日も続けて出てくるので、毎日餌が完食されるようになってからトリガーを仕掛けるようにしましょう。警戒心が薄れた状態でトリガーを仕掛けた方が一度にたくさんとれる可能性が高くなります。

箱わな



多くの獲物が来ているときは、トリガーの感度などを調節して、1頭の獲物が入ってもしばらくは落ちない工夫をした方が、一度に多く捕獲できる可能性が高くなります。

囲いわな



大型の囲いわなでは、カメラ監視と遠隔操作を合わせて、多数を一度に獲る方法をお勧めします。

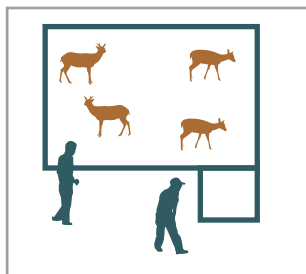
捕まらないときも、1週間から10日は根気強く餌をやりましょう。それでも、捕まらない場合は、場所、餌、時期を見直しましょう。



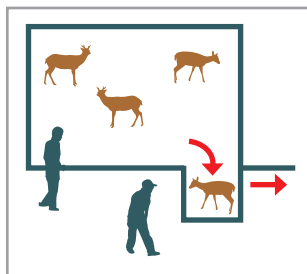
4 殺処分

1 殺処分を行う前に…

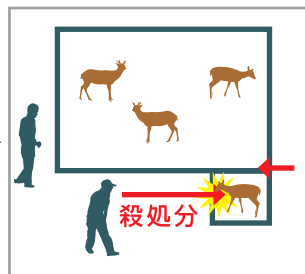
わなが大きい場合は、ポケットゲートへ呼び込んでから殺処分を行なうとスムーズです。



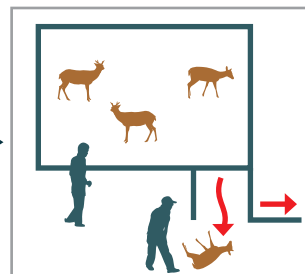
ポケットゲートと呼ばれる小さいスペースで1頭ずつ殺処分します。



ポケットゲートを開けると、シカは自分から入って来ます。



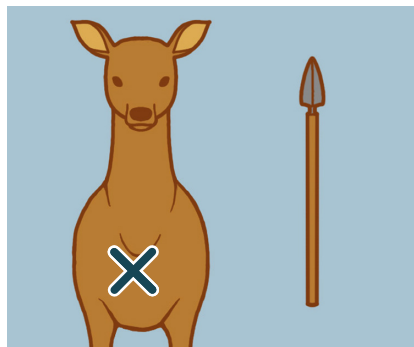
他のシカが入って来ないように扉を閉めてから殺処分します。



出口の扉を開けて殺処分したシカを出し、放血します。

2 殺処分の方法

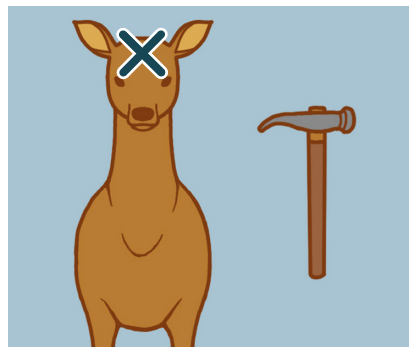
槍を使った殺処分



① 正面あるいはわき腹から心臓を狙って突きます。

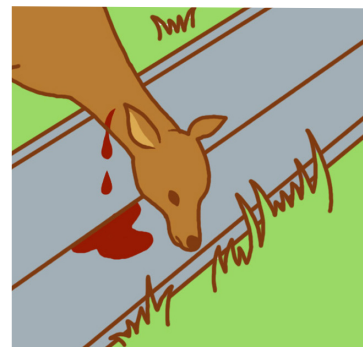
※槍刺殺は、わなの格子の間から突くことが容易ですが、ポケットゲート内がシカの血で汚れます

ハンマーによる殺処分



① 頭部を先が突起状になっているハンマーで叩きます。

※ハンマー打撃では、現場での流血はありませんが、わなの格子があると打撃が難しくなります。



② 頸動脈か心臓にナイフを刺し、頭を下にして流血します。